

謹んで新年のお慶びを申し上げます



奥尻町長 新村卓実

新年 あけましておめでとう
ございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい希望に満ちた新年をお迎えになりましたことを心からお慶び申し上げます。

また、日頃より町政全般にわたり、ご支援を賜り心から感謝申し上げます。

本年は、私が町民の皆様より町政を付託され、2期3年目（通算7年目）となります。

私自身の町政に対する心構えとしては、常に初心を忘れることなく自らを正した中で自治運営に努めてまいっている覚悟であります。

本年もご支援とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年を振り返って

さて、昨年を振り返りますと、沖縄県の伊平屋村で長年開催されてきた『ムーンライトマラソン』が、6月14日に初めて本町において開催されました。

この大会は、ハーフマラソンと道南では初となるフルマラソンとで競技が行われ、合計48名の選手が参加し、参加者は景観や漁火、町民とのふれ合いなど、島の魅力を堪能され、たくさんの方の感動の声をいただきました。

また、『豪華客船』に『ぼん丸』による奥尻島クルーズツアーが、5度目の挑戦で念願が叶い、7月8日、約300名の方が奥尻島へ上陸し、新鮮な海の幸や島観光を楽しまれ、優雅なひと時を過ごされました。

他にも、多くの行事やイベント等を企画・実施し、全て無事終えることができましたことは、町民皆様のご理解とご協力の賜物であり、改めて深く感謝とお礼を申し上げます。

国内情勢について

国政に目を向けますと、昨年11月に衆議院が解散し、12月14日の総選挙の結果、新たな自公連立政権が誕生しました。

安倍首相は、「経済の好循環の流れを止めることなく、景気回復の実感を全国津々浦々へ広げる」と引き続き、アベノミクスを推進することとすることで、その効果に期待するところであり、また、昨年全国各地で大規模災害が発生いたしました。

道外においては、8月に広島市の土砂災害、9月には長野県と岐阜県境の御嶽山の噴火、11月には、長野県北部地震、道内では、8月の礼文島での土砂災害や12月に襲来した爆弾低気圧など、毎年繰り返される自然の猛威に驚かされるばかりです。

過去に大規模な災害を経験した本町としては、これらの災害で犠牲になられた方々のご冥福を祈るとともに被災された地域の日でも早い復興を切に願うものであります。

町政について

本年の町政について概略であります、主なものを何点か述べたいと思います。

まず、本町の基幹産業である漁業についてですが、水揚を期待していたホッケ漁は、昨年、全道的にも不漁で、本町においても著しい不漁となり、イカ漁においても秋以降に島周辺海域で漁場が形成されず、水揚を求め他海域に出漁された漁船が出るなど、奥尻町の漁業の柱となるホッケ漁とイカ漁においては深刻な状況であったと受け止めております。

さらに、燃油価格の高騰や輸送コスト高など漁業を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあります。

副町長	田中 敦詞
総務課長	新谷 順二
地域政策課長	鴈原 哲夫
住民課長	三浦 成一
建設水道課長	小山内 政悦
水産農林課長	三上 郁也
企業管理課長	松川 博俊
発電課長	柴野 憲司
青苗支所長(兼)環境センター所長	坂本 敬
空港管理事務所長	松川 治樹
会計管理者	後藤 一巖
他職員一同	



皆が安心して暮らせる未来と 活力あるまちづくりを目指して

海上輸送経費を支援

このような現状を打開するため、地域戦略として掲げた産品に対しての「輸送経費支援事業」を実施し、燃油高騰に対する支援などを国や北海道に強く働きかけていきたいと思っております。

また、北海道が進める「日本海漁業振興基本方針」に伴う養殖事業等の展開やアワビやナマコの種苗放流、ヒラメ・ニシン・サクラマスなどの稚魚放流を継続して実施し、漁業資源の回復と生産力の向上を図ります。

豊かな森の育成

農業については、国の農業政策が転換期を迎える中、奥尻産米を使用した地酒、紫アスパラ、おくしり和牛の増頭など、奥尻ブランドの強化に向け支援して行きたいと考えております。

また、島の面積の約8割を占める森林を守り育成するため、木質バイオマス事業を核として整備推進しており、森林からの恵みを余すところなく活用するとともに、昨年、なべつる林道頂上付近に整備した「豊かな森」での植樹事業を拡充し、緑豊かな森づくりを推進してまいります。

ムーンライトマラソン

観光関連としては、第2回奥尻ムーンライトマラソンを

6月27日に開催し、26日・27日それぞれ前夜祭と後夜祭を開催することとしており、昨年の反省点などを改善し、皆様から良い評価をいただけるような大会を開催したいと考えておりますので、町民皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

環境衛生対策として、し尿及び浄化槽汚泥を処理するための『ミックス処理施設』が、27年度中に完成予定であり、汚水処理問題を解決します。

また、北海道南西沖地震から20年以上経過し、皆さんの住宅がリフォームの時期を一斉に迎えている現状を踏まえ、『住宅リフォーム助成事業』を27年度新しく創設し、住民の暮らしのサポートを推進いたします。

ドクターヘリ運用開始

「地域医療対策として、『道南ドクターヘリ』が、本年2月16日より運用を開始する予定です。

従来、緊急患者の搬送に4時間前後要していた時間が大幅に短縮され、地域医療体制が強化されることから、患者への負担が軽減されるものと期待しております。

中高一貫教育の推進

教育関係では、昨年奥尻小学校の統合や青苗小学校屋内運動場の整備が完了しました。本年は、29年度から実施予

定の現在の奥尻高等学校校舎を活用した「中高一貫教育」の準備期間と位置づけ、中学校校舎増築部分の設計を実施し、先に示した教育基本方針に沿って子どもたちの教育環境基盤の整備を図ります。

ふるさと納税の拡充

昨年体制を強化した『ふるさと納税制度』には、一昨年少と納税した方には、昨年少を遥かに超える多くの方から申し出をいただき、貴重な財源として、それぞれの施策にご活用させていただいております。今後も特典等の充実を図り、多くの方が利用できる環境を整えたいと考えています。

以上、本年掲げた施策などの一端を申し上げましたが、新年を迎え、決意を新たに町政運営を推進して参りたいと存じますので町民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



結びに、新しい年が町民皆様にとりまして、希望に満ちた幸多き年となりますようご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成27年 元旦

奥尻町国民健康保険病院

- 院長 長東 常 視
- 副院長 柴田 正
- 院長 泉里 豪 俊
- 歯科医長 渡邊 一 史
- 薬局長 渡邊 久 代
- 看護師長 前田 裕 子
- 事務局長 禿 義 廣
- 他職員 一 同

奥尻町選挙管理委員会

- 委員長 小林 賢 三
- 他委員 一 同
- 書記長 新谷 順 二

奥尻町農業委員会

- 会長 長海 老 原 浩
- 他委員 一 同
- 事務局長 三上 郁 也

奥尻町監査委員

- 代表監査委員 佐藤 稟 一
- 他委員 一 同
- 事務局長 木村 孝 義